

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <http://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 啓二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 羽石 是之
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月12日

上場取引所 東

TEL 028-665-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	8,877	—	269	—	251	—	△131	—
20年3月期第2四半期	9,294	2.1	676	△12.1	662	△1.0	250	△30.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△4.67	—
20年3月期第2四半期	8.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	23,746	500.97	14,086	500.97	59.3	500.97	500.97	
20年3月期	22,359	509.81	14,383	509.81	64.3	509.81	509.81	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 14,086百万円 20年3月期 14,383百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
21年3月期	—	3.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	△4.0	250	△75.2	150	△83.7	△230	—	△8.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 28,392,000株 20年3月期 28,392,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 273,024株 20年3月期 177,627株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 28,194,708株 20年3月期第2四半期 28,228,494株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、上記予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する定性的情報は、2ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、世界的な金融リスクの高まりや、原油高、原材料高などで景気の減速が強まる状況となっております。

当社グループが市場とする食品業界は、食の安全性や衛生面に対する要請の高まりや、低価格、簡便性、高品質、健康志向の増大などの消費者ニーズの多様化、環境問題への対応、原材料の高騰や残留農薬、汚染米による影響など多くの問題を抱えております。

食品加工機械製造販売事業については、売上高は7,054百万円（対前年同四半期819百万円減）となりました。

食品製造販売事業については、売上高は1,834百万円（対前年同四半期246百万円増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は8,877百万円（対前年同四半期417百万円減）、営業利益は269百万円（対前年同四半期407百万円減）、経常利益は251百万円（対前年同四半期410百万円減）、棚卸資産の評価に関する会計基準を踏まえ、たな卸資産の評価減を実施したことによる影響額87百万円と適格退職年金制度から確定給付企業年金制度および確定拠出企業型年金制度への移行時の終了損380百万円を特別損失に計上したことにより、四半期純損失は131百万円（対前年同四半期は、四半期純利益250百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、262百万円増加し、9,955百万円となりました。これは、仕掛品が289百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、1,124百万円増加し、13,790百万円となりました。これは、上河内工場建設により、建設仮勘定が1,079百万円、投資有価証券が93百万円それぞれ増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,386百万円増加し、23,746百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、927百万円増加し、6,494百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が177百万円、短期借入金が405百万円、それぞれ増加したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、756百万円増加し、3,165百万円となりました。これは、長期借入金が813百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、1,683百万円増加し、9,659百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、297百万円減少し、14,086百万円となりました。これは、主として利益剰余金が244百万円減少したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の決算発表時（平成20年5月15日）に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しております。具体的な内容については、本日（平成20年11月10日）公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によりしております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これによる税金等調整前四半期純損失は、当第2四半期連結累計期間において87百万円増加しております。

③ リース取引に関する会計基準の適用(借主側)

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上することにしております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,720,235	1,858,093
受取手形及び売掛金	2,995,549	3,009,934
商品	1,033,679	897,895
製品	1,132,584	1,095,639
半製品	626,225	731,085
原材料	344,775	352,032
仕掛品	995,189	705,332
貯蔵品	108,980	134,081
繰延税金資産	530,248	341,109
その他	497,577	607,184
貸倒引当金	△29,636	△39,354
流動資産合計	9,955,409	9,693,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,412,494	10,335,560
減価償却累計額	△6,497,750	△6,372,419
建物及び構築物（純額）	3,914,744	3,963,140
機械装置及び運搬具	6,027,163	6,056,161
減価償却累計額	△4,949,864	△4,940,954
機械装置及び運搬具（純額）	1,077,298	1,115,207
工具、器具及び備品	1,689,871	1,690,857
減価償却累計額	△1,522,609	△1,513,137
工具、器具及び備品（純額）	167,261	177,719
その他	23,887	—
減価償却累計額	△1,891	—
その他（純額）	21,995	—
土地	5,524,125	5,516,458
建設仮勘定	1,261,638	181,694
有形固定資産合計	11,967,063	10,954,220

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
無形固定資産		
のれん	96,631	113,281
その他	53,430	51,381
無形固定資産合計	150,062	164,663
投資その他の資産		
投資有価証券	708,636	615,591
長期貸付金	194,772	121,118
繰延税金資産	787,917	796,348
その他	172,882	182,404
貸倒引当金	△190,502	△150,118
投資損失引当金	—	△17,485
投資その他の資産合計	1,673,705	1,547,860
固定資産合計	13,790,831	12,666,743
資産合計	23,746,241	22,359,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	844,442	667,386
短期借入金	3,437,342	3,031,927
未払法人税等	100,120	21,868
賞与引当金	520,334	600,310
役員賞与引当金	—	23,100
その他	1,591,992	1,222,386
流動負債合計	6,494,232	5,566,979
固定負債		
長期借入金	1,224,880	411,400
繰延税金負債	129,294	137,848
再評価に係る繰延税金負債	840,241	840,241
退職給付引当金	816,890	882,643
その他	153,833	136,721
固定負債合計	3,165,140	2,408,854
負債合計	9,659,373	7,975,834

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,750	7,060,750
利益剰余金	5,824,045	6,068,522
自己株式	△94,288	△61,893
株主資本合計	20,142,256	20,419,128
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,577	3,499
土地再評価差額金	△5,215,780	△5,215,780
為替換算調整勘定	△834,030	△822,903
評価・換算差額等合計	△6,055,388	△6,035,184
純資産合計	14,086,868	14,383,944
負債純資産合計	23,746,241	22,359,778

(2) 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

	(単位:千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	8,877,701
売上原価	4,485,729
売上総利益	4,391,971
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	208,967
荷造運搬費	241,802
貸倒引当金繰入額	56
販売手数料	182,952
給料及び手当	1,287,510
賞与引当金繰入額	280,616
退職給付費用	184,720
旅費及び交通費	235,406
減価償却費	118,584
研究開発費	379,665
その他	1,002,548
販売費及び一般管理費合計	4,122,831
営業利益	269,140
営業外収益	
受取利息	14,163
受取配当金	6,134
物品売却益	21,762
その他	38,715
営業外収益合計	80,775
営業外費用	
支払利息	37,682
貸倒引当金繰入額	39,985
為替差損	17,951
その他	2,371
営業外費用合計	97,990
経常利益	251,926

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
特別利益	
固定資産売却益	1,425
貸倒引当金戻入額	6,862
投資損失引当金戻入額	17,485
特別利益合計	25,773
特別損失	
固定資産売却損	183
固定資産除却損	12,619
たな卸資産評価損	87,580
退職給付制度一部終了損	380,247
特別損失合計	480,630
税金等調整前四半期純損失(△)	△202,930
法人税、住民税及び事業税	85,987
過年度法人税等	24,133
法人税等調整額	△181,355
法人税等合計	△71,235
四半期純損失(△)	△131,695

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△202,930
減価償却費	292,330
のれん償却額	16,650
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	33,441
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△80,766
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△65,752
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,100
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△17,485
受取利息及び受取配当金	△20,297
支払利息	37,682
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,242
有形固定資産除却損	12,619
たな卸資産評価損	87,580
売上債権の増減額 (△は増加)	12,632
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△464,934
仕入債務の増減額 (△は減少)	186,067
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,903
その他	309,163
小計	123,561
利息及び配当金の受取額	21,361
利息の支払額	△44,316
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	73,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,051,829
有形固定資産の売却による収入	2,543
無形固定資産の取得による支出	△14,228
投資有価証券の取得による支出	△108,149
貸付けによる支出	△74,263
貸付金の回収による収入	610
その他	△5,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,250,547

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	135,560
長期借入れによる収入	1,130,550
長期借入金の返済による支出	△109,740
自己株式の取得による支出	△32,394
配当金の支払額	△113,019
その他	△1,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,009,439
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70,632
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△137,857
現金及び現金同等物の期首残高	1,858,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,720,235

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	食品加工機械 製造販売事業 (千円)	食品製造 販売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	7,043,680	1,834,020	8,877,701	—	8,877,701
(2)セグメント間の内部売上高又は 振替高	11,127	187	11,315	(11,315)	—
計	7,054,808	1,834,208	8,889,016	(11,315)	8,877,701
営業利益	913,032	8,088	921,121	(651,981)	269,140

(注) 1 事業区分の方法

当社および連結子会社の取扱い商品および製品をその種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づき判別し、食品加工機械製造販売事業と食品製造販売事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要商品および製品

事業区分	売上区分	主要商品および製品
食品加工機械 製造販売事業	食品成形機	万能自動包あん機（N209型・卓上包あん機）、火星人（CN010型・CN500型・CN600型・KN500型・KN508型・KN550型・WN055型・WN056型・WN066型）、ロボットEP
	製パンライン等	ストレスフリーV ₄ システム、ストレスフリーVMシステム、V ₄ フリーデパイダー、ツインデパイダー、フリーデパイダーVs、ADライン、リングエクストルーダーライン、マルチコエクストルーダーライン、MMライン、HMライン、EZテーブルライン、コンパクトEZテーブル、マルチヘッドインクラスターライン、USライン、ミニスターマー、コンパクトパンナー、クワトロフォーマー、マルチサンドライン
	修理その他	部品、オプション、技術指導料、修理工賃
	仕入商品	オープン、ミキサー、包装機等の他社よりの仕入商品
食品製造販売 事業	食品	クロワッサン、デニッシュペストリー、クッキー類 天然酵母パン種

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	4,636,243	2,231,582	1,556,190	453,684	8,877,701	—	8,877,701
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,911,783	3	1,527	—	1,913,315	(1,913,315)	—
計	6,548,027	2,231,586	1,557,718	453,684	10,791,016	(1,913,315)	8,877,701
営業利益	803,799	22,180	68,101	74,351	968,433	(699,292)	269,140

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) ヨーロッパ……………ドイツ

(3) アジア……………台湾

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米・南米	ヨーロッパ	アジア・オセアニア	計
I 海外売上高 (千円)	2,231,582	1,556,190	453,684	4,241,457
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	8,877,701
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合 (%)	25.1	17.5	5.1	47.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、イタリア、イギリス、ロシア

(3) アジア・オセアニア……………台湾、中国、韓国、オーストラリア

3 海外売上高は、海外連結子会社における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
I 売上高	9,294,764
II 売上原価	4,465,042
売上総利益	4,829,721
III 販売費及び一般管理費	4,153,568
営業利益	676,153
IV 営業外収益	
1 受取利息及び割引料	19,149
2 受取配当金	5,900
3 廃品処分収入	22,090
4 その他	31,181
営業外収益合計	78,322
V 営業外費用	
1 支払利息	79,037
2 たな卸資産廃却損	4,481
3 その他	8,561
営業外費用合計	92,080
経常利益	662,396
VI 特別利益	
1 貸倒引当金戻入益	9,916
2 固定資産売却益	285
3 投資有価証券償還益	14,019
特別利益合計	24,221
VII 特別損失	
1 固定資産売却損	420
2 固定資産除却損	10,945
3 貸倒引当金繰入額	180
特別損失合計	11,545
税金等調整前四半期純利益	675,071
法人税、住民税及び事業税	95,638
過年度法人税、住民税及び事業税	△467
法人税等調整額	329,501
四半期純利益	250,398

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日)
	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第 2 四半期純利益	675,071
減価償却費	281,922
のれん償却	16,650
貸倒引当金の増減額 (減少：△)	△21,638
賞与引当金の増減額 (減少：△)	45,438
役員賞与引当金の増減額 (減少：△)	△16,500
退職給付引当金の増減額 (減少：△)	△7,608
役員退職慰労引当金の増減額 (減少：△)	△909,291
受取利息及び受取配当金	△25,050
支払利息	79,037
有形固定資産売却損益 (売却益：△)	135
有形固定資産除却損	10,945
投資有価証券償還益	△14,019
売上債権の増減額 (増加：△)	△354,799
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△366,252
その他流動資産の増減額 (増加：△)	△56,046
その他長期資産の増減額 (増加：△)	118,841
仕入債務の増減額 (減少：△)	153,109
未払消費税等の増減額 (減少：△)	△14,127
その他流動負債の増減額 (減少：△)	98,525
その他長期負債の増減額 (減少：△)	136,131
その他	1,589
小計	△167,936
利息及び配当金の受取額	23,914
利息の支払額	△75,483
法人税等の支払額	△395,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	△615,073

(単位：千円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△578,726
有形固定資産の売却による収入	4,393
無形固定資産の取得による支出	△8,523
投資有価証券の取得による支出	△1,896
投資有価証券の償還による収入	37,297
貸付けによる支出	△9,924
貸付金の回収による収入	6,039
その他	△17,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△568,862
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (純減少：△)	278,995
長期借入れによる収入	650,000
長期借入金の返済による支出	△85,340
自己株式の取得による支出	△5,282
配当金の支払額	△112,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	725,471
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	13,683
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△444,780
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,670,536
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,225,755

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	食品加工機械 製造販売事業 (千円)	食品製造 販売事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	7,707,021	1,587,743	9,294,764	—	9,294,764
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	167,778	—	167,778	(167,778)	—
計	7,874,800	1,587,743	9,462,543	(167,778)	9,294,764
営業費用	6,442,831	1,606,675	8,049,507	569,104	8,618,611
営業利益又は営業損失(△)	1,431,968	△18,932	1,413,036	(736,882)	676,153

(注) 1 事業区分の方法

当社および連結子会社の取扱い商品および製品をその種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づき判別し、食品加工機械製造販売事業と食品製造販売事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要商品および製品

事業区分	売上区分	主要商品および製品
食品加工機械 製造販売事業	食品成形機	万能自動包あん機（N209型・卓上包あん機）、火星人（CN010型・CN500型・CN600型・KN500型・KN550型・WN055型・WN056型・WN066型）、ロボットEP
	製パンライン等	ストレスフリーV ₄ システム、ストレスフリーVMシステム、V ₄ フリーデバイダー、ツインデバイダー、フリーデバイダーVs、ADライン、リングエクストルーダーライン、マルチココエクストルーダーライン、MMライン、HMライン、EZテーブルライン、コンパクトEZテーブル、マルチヘッドインクラスターライン、USライン、ミニスチーマー
	修理その他	部品、オプション、技術指導料、修理工賃
	仕入商品	オープン、ミキサー、包装機等の他社よりの仕入商品
食品製造販売 事業	食品	クロワッサン、デニッシュペストリー、クッキー類 天然酵母パン種

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

前第2四半期連結累計期間 684,043千円

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	5,188,626	2,300,689	1,805,449	9,294,764	—	9,294,764
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,220,065	15	—	2,220,080	(2,220,080)	—
計	7,408,691	2,300,704	1,805,449	11,514,845	(2,220,080)	9,294,764
営業費用	6,039,335	2,302,052	1,648,651	9,990,039	(1,371,428)	8,618,611
営業利益又は営業損失(△)	1,369,355	△1,348	156,797	1,524,805	(848,652)	676,153

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) ヨーロッパ……………ドイツ

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

前第2四半期連結累計期間 684,043千円

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,234,746	1,805,433	564,563	4,604,744
II 連結売上高(千円)				9,294,764
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.0	19.4	6.1	49.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国、カナダ

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、ロシア

(3) その他の地域……………アジア他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。